

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



令和5年
9月号

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



東京都慰霊堂(墨田区)

西徳寺の予定

9月

- | | | |
|---------------|-------|-----------------------|
| 1日(金) | 午後2時 | 評議員会役員会 |
| 2日(土) | 午後4時 | 黒森神楽・西徳寺公演 |
| 7日(木) | 午後2時 | 総代会 |
| 9日(土) | 午後5時半 | 同行会『観衆偈』に聞く 法話:大橋 伊知郎 |
| 13日(水) | 午後1時半 | 婦人会聞法会 |
| 16日(土) | 午後1時半 | 定例聞法会 |
| 20日(水)~26日(火) | | 秋季彼岸会 |
| 22日(金) | 午後1時半 | 秋季永代経法要 |

10月

- | | | |
|--------|-------|---------------------|
| 1日(日) | 午後2時半 | 城西ブロック会聞法会 |
| 7日(土) | 午後5時半 | 同行会『観衆偈』に聞く 法話:高橋 淳 |
| 8日(日) | 午後2時半 | 城東ブロック会聞法会 場所:西徳寺 |
| 18日(水) | 午後1時半 | 婦人会聞法会 |
| 22日(日) | 午後2時 | 城南ブロック会聞法会 |
| 25日(水) | 午前10時 | 仏具磨き |
| 29日(日) | 午後2時半 | 中央ブロック会聞法会 場所:西徳寺 |

※予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

顧問の一言

がたびし 我他彼此

昔は部屋の建具がうまくいかないとき、ガタビシすると表現していたのですが、今は他の人と折り合いが付きにくいときしか使わないのかも知れません。消えていく言葉の一つでしょう。我^{われ}と他^{あちら}、彼方と^{こちら}此方が分かれる、つまり他の人と意見が合いにくいことの関係性を指しています。カタビシしない融合できる道を求めたいものです。



9月の山門の言葉



豊かさを勘違いしている私

運転中の母親が後部座席の娘に一瞬目をやった次の瞬間、目の前に停止中の車が……。ぶつかると前に安全装置が作動して急停車。ある車メーカーのCMである。

最近の車は、いかに自動運転や安全装置の技術が優れているかをメーカーが競い合い、重視する傾向にあるように思う。アクセルとブレーキの踏み間違えを抑制する装置や、先のCMのように咄嗟の時も安全に止まる装置等。安心して運転できる技術が日々開発され、より豊かな車社会が実現している。

しかし私はそこに違和感を覚える。車を運転する者は、安全運転をすることが義務である。「運転中によそ見をしない」当たり前のことである。冒頭のCMは一步間違えれば協見運転であり、立派な交通違反になりうる。

便利な世の中、豊かな生活を求め日進月歩してきたのが、我々人間の歩みである。その結果どうなったか。終わりの見えない国と国との争い。人と人との関係性も、名前も顔も知らない人同士が匿名でお互いを誹謗中傷し合う。隣に住んでいる人との付き合いさえも希薄となっている。

便利になれば、誰もが幸せになれる世の中になると思っていた。しかし現実には便利になればなるほど、私たちの生活は浅く狭く、個人的になっているように感じる。自分にとっての便利さ、豊かさを求めれば求めるほど、「共に生きる」世界から乖離していく。ないものねだりではなく、今眼の前にすでに与えられている物事に気づく。それが本当の豊かさではないだろうか。

(蓮井 邦宗 記)

ランドマーク 東京都慰霊堂(墨田区)

関東大震災の遭難死者を納骨する「震災記念堂」として建設。場所は一番被害が大きかった陸軍被服廠跡地。その跡地では38,000人が亡くなったとされる。西徳寺の本堂と同様、昭和5年に竣工した鉄骨鉄筋造り。被災者58,000体のお骨が納められた。

その21年後、東京大空襲の戦災者105,000体が納められ、昭和26年「東京都慰霊堂」と改められた。毎年震災記念日の9月1日、そして東京大空襲の3月10日に慰霊大法要が勤まっている。

この慰霊堂の設計は一般公募されているが、その募集趣旨には「火災を記念し併せて遭難者の霊を永久に追弔し、将来を警告する記念建造物を建設し以て犠牲者の弔祭場となし又社会教化に利用するもと」とあった。永久に追弔し、そして未来を願い続けるために、燃えない・倒れない建物としての鉄筋造なのだろう。西徳寺の本堂に懸けられた願いと重なる。

住職 山崎 哲



慰霊堂 堂内

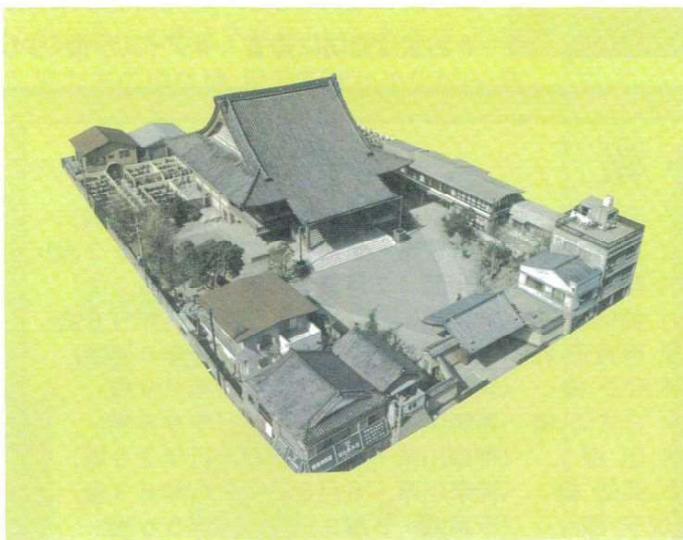
西徳寺本堂の歩みと現状

今年の9月1日は関東大震災100年。再建された西徳寺本堂は10月5日で93歳を迎えます。この度、清水建設様に本堂調査を依頼する運びとなりました。現状把握のための第一歩となります。皆様には随時、進捗をお知らせして参ります。

改めて、西徳寺は2028年（5年後）に開基400年を迎えます。そして2030年（7年後）には本堂建立100年を迎えます。そこで来年の報恩講（2024年11月2・3日）を機に、「西徳寺開基400年本堂建立100年」の法要を勤修させていただき予定でございます。こちらも今後、皆様にお知らせ・ご案内をさせていただきます。

計り知れないご縁に支えられてきた西徳寺、そのご恩を後世に伝えていきたいと思っております。

住職 山崎 哲



仏光寺別院 西 徳 寺 昭和4年2月27日写す



いまさら聞けないお寺のこと

【お布施】



質問：法事やお葬式の際に、お寺さんにお渡しする御礼の表書きはどうすればいいですか？

答え：「お布施」としていただき、下にお名前もお書きいただければ問題ありません。

質問：では、お布施以外にも表書きはあるのですか？

答え：あります。地域によっては「ご仏前」や「お経料」などがありますが、西徳寺では「お布施」としていただければ結構です。

【お布施の由来】

「布施」は、元はインドの「ダーナ」という言葉で、「与えること」という意味です。

昔インドで、ひとりのお坊さんが説法をしながら各家をまわっていたところ、ある貧しい家で「とてもありがたいお話をいただきましたが、我が家は貧乏なのでこの布しか差し上げられません・・・。」と、薄汚れた布を差し出しました。お坊さんはその布を縫って継ぎはぎだらけの袈裟を作りました。これがお布施の由来です。

元々お布施というのは、お金だけを意味するものではなく、見返りを求めずに施すこと。人のためにできる限りのことをするという意味なのです。

その他、「聞きたいけどお寺さんに聞きづらいなあ」ということも、ご遠慮なく西徳寺のお坊さんにお問い合わせ下さい。

中央ブロック会 報告

7月23日(日)、西徳寺せんだんの間におきまして、中央ブロック聞法会を開催いたしました。(今回の中央ブロック会は都合により担当：蓮井が欠席となった為、仲井が代役を勤めました)

12名の参加者の皆様と共に『正信偈』、今回は源空(法然)上人の教えについて考えました。大谷顧問からは、「ただ念仏」と選択された法然上人。あなた(アミダ)任せ、いのち任せと教えられながら、私たちは知識ばかりで任せられない。いのちは私のものではないと、教えられ続けていく歩みが指し示されているのです」と教えられました。

懇親会でも話題が尽きず、下町らしい和気あいあいとした時間を過ごしました。

次回は10月29日(日)に、西徳寺で聞法会を予定しております。皆様お気軽にご参加ください。

(担当代理 仲井 真裕 記)



燈虹塾セミナー報告

歴代の徳川家のお墓を見て、そこから時代背景を眺めてみようと、8月9日に「どうなの、徳川?～お墓から紐解く將軍家の人々 Part II～」セミナーを開催いたしました。

前回の復習もしつつ、徳川家墓所の移りゆく様を、古地図や建造物といった資料を手がかりに、当塾理事でもあります浮世写真家・喜千也氏よりお話を伺いました。

前回もそうでしたが、とにかく靈廟が豪華絢爛!將軍お一人お一人のために一等地で本殿・拜殿などがこしらえられてきたことに、ただ驚かされました。しかしだんだんと土地など不具合も生じてきたようで、八代將軍徳川吉宗以降は財政儉約のため縮小されたというお話が印象的でした。様々な事情がありながらもご先祖様への想いを感じるひとときでありました。

(事務局 高橋 淳 記)



浮世写真家 喜千也氏



セミナーの様子

秋季永代経法要のご案内

特に暑い日が続いた今年の夏。お盆にお参りの方が「お天気で良かったけど、天気良すぎて困ります」と仰っていました。それが冬になると「寒くて困ります」に言葉が変わっていくのでしょうか。

様々な環境の変化の中を生きるのが私たちです。90才近いある門徒さんが、「昔のことを思い出すと、何か夢を見てるような気分になるよ」と仰いました。夢は未来に向けて見るものだと思っていた私は驚きました。しかし確かに過ぎ去った過去も、夢・まぼろしのように感じられます。そんな儂い一生に、「今」を開くのが念仏の教えであるといわれます。西徳寺では9月のお彼岸に秋季永代経法要を勤め、私たちの現在地、足元を確かめながら、皆様と共に手を合わせたいと思います。

お墓参りだけでなく、ぜひ本堂にもお参りください。

秋季彼岸会 9月20日(水)～9月26日(火)

秋季永代経法要 9月22日(金) 午後1時半～ 永代経法要

午後2時頃～ 法話 【山崎^{ひろし} 哲住職・蓮井^{くにとし} 邦宗】



山崎住職



蓮井邦宗

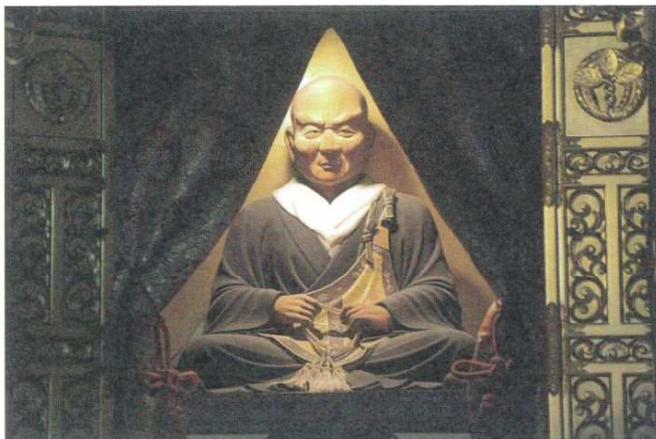
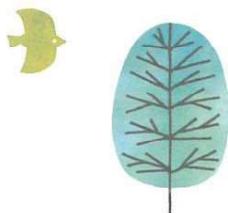


ほうおんこう 報恩講って?

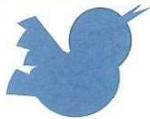
宗祖親鸞^{しゅうそしんらんしょうにん}聖人のご命日(11月28日)法要。本山佛光寺では毎年11月21日から28日までの7日間、御正忌報恩講として勤まっています。各末寺におきましても、御正忌より前にお勤めする習慣があり、これをお取越^{とりこし}などといいます。地方では各ご門徒宅のお内仏でも毎年勤められ、親鸞聖人のご命日をご縁として仏法に出遇わせていただく、真宗門徒においては大切な法要であります。

西徳寺では、11月4日(土)・5日(日)に、報恩講をお勤めいたします。

詳細は来月号にてご案内いたします。



親鸞聖人像(西徳寺本堂)



坊さんのツブヤッター

食べたアイス



@りゅうにい

先日、友人の結婚式での余興でアイスの早食い競争に参加。見事優勝。豪華景品を得て、群衆から注目を浴びた。しかし、以降どうも歯の具合がおかしい。時折激痛が走る。心配になりネットで調べると、アイスの早食いは急激な歯の冷却で神経に炎症を起こすため危険であると記載。最悪歯を抜くことになるという。未だに痛みは続いている。代償は大きかった。友よ、おめでとう。

#お盆は自坊に帰省 #アイスが憎く少し恋しくなる夏休み

えこお志お礼

千葉県 鈴木 秀夫 様

埼玉県 大久保 吉明 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



滋賀県の夏空 (妻と子供が帰省しました)

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
愚者が心を顕す～

先日ニュースを見ていると、経済発展には、技術の進歩が必要だと出演者の方が仰っていました。しかしこれだけいろいろな物事が便利になっているのに、技術進歩って要るのだろうかと思います。これ以上の便利さが必要なのかどうか…。

経済という言葉の元は、経世済民(世を経(おさめ)、民を済(すくう))です。今の時代、経済は人を金によって迷わせる言葉になっているように感じます。

実は宗教もそうで、人がより良く生きたいという願いが元なのに、何か他人と比較し、「こんなことを知っている私」という優越感に変わってしまうことがあります。元の願い・喜びを忘れ、争いや迷いの元にしてしまう。原点を忘れるということが、どれほど恐ろしいことかと感じています。(編集長 仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com
🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。